

# 絵やポスターを描くためのポイント

## ① 何を描こうか、テーマを決める。

- ・テーマをよく読む。頭あたまに浮かんだ絵や言葉を別の紙に書き出す。

## ② 条件は、何かたしかめる。

- ・たてがき、よこがき、四つ切り画用紙（38×54くらい）

（絵画は、絵です。ポスターは、字が入ったり目立つようにデザインしたりしたものです。）

## ③ どんなふうに描こうかな。

- ・描きたいものは、大きく描く。目立つことが大切。
- ・字（標語・スローガン・ことば）をどこに、どの大きさで入れるか考える。
- ・別の紙に、鉛筆で描いて予想を立てる。
- ・画用紙に薄く鉛筆で描いてみる。
- ・パソコンで5cm角以上の文字を打ち出し、配置して上からなぞって跡をつけると字形が美しい。（高学年）

## いよいよ本番！

- ・低学年は、絵や字をクレヨンでかく。まわりを絵の具で色をつける。
- ・中学年は、絵や文字の輪郭をクレヨンや油性マジックでかき、絵の具で色をつける。
- ・高学年は、輪郭をBの鉛筆で薄く描く。（アクリルガッシュやポスター絵の具を使うとよい。）
- ・ポスターは、絵の具をシチューくらいの濃さで描くと強い印象になる。
- ・広い部分は、多めに絵の具を出す。（豆腐のカップなどを使うとよい。）
- ・背景もすべて色をつける。白色を少しまぜるとむらが目立たない。まわりを、うすい色（黄・黄緑・水色、ピンク、クリーム色など白色をまぜた色）の絵の具でぬる。夜のイメージなら黒や紺もあり。
- ・まわりの広いところは、太筆や たんぽ（てるてるぼうずの形のもの）をつかうとよい。
- ・字は、背景が薄い色なら、黒、紺、青、赤、緑の濃い色で描くと目立つ。
- ・色の組み合わせが、不安なときは、色紙を重ねて配色を考えよう。
- ・赤と緑など強い色同士は、目が疲れるので、間に白を入れたり、面積比を変えたりしてみよう。
- ・優しい色と強い色のバランスを考えよう。

## 絵（絵画）

- ・絵の具をのせるようにてんと連続で筆を運ぼう。絵の具の濃さは、ジュースくらいがいい。
- ・遠くの物から、優しい色（レモン、黄、肌色、黄土、黄緑、水色、橙...）から、色をのせていく。
- ・白色を少しずつ増やして色を混ぜて、明るくする部分を作ると絵に表情がでる。
- ・緑色を明るくするときは、黄色を混ぜる。深みを出したいときは、水色や青色や藍色を少しすすといいい。
- ・茶色は、黄土色や黄色や黒色と仲がいいから、少し混ぜるといろいろな茶色ができる。

き り と り せ ん

課 題(題名)			
学校住所	440-0065 愛知県豊橋市仁連木町15番地 電話(0532)62-0448 FAX(0532)65-1204		
学校名	とよはししりつあずまだしょうがっこう 豊橋市立東田小学校 ねん 年 くみ 組 (男・女)		
(ふり がな) 氏 名			才

応募用紙を必ず作品の裏右下（うらみぎした）へはること。⑥⑬⑮は、別紙の指定の応募票をはる。